

2023年1月1日
株式会社資生堂
代表取締役 会長 CEO 魚谷雅彦

年頭所感

新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染症が世界で一進一退を繰り返しているなか、罹患されている方々や、困難な状況におられる皆さまに心よりお見舞いを申し上げます。

昨年、当社は創業150周年という節目の年を迎え、まさに次の150年に向かって新たなスタートを切りました。クイーンズ駅伝では、資生堂ランニングクラブが素晴らしいチームワークを発揮し、「夢は、それに向かって努力すれば必ず叶う」ことを示してくれました。大会新記録を出して優勝し、チーム一丸で必死に努力を重ねてくれたことに心より感謝と敬意を表します。

当社は、「世界で勝てる日本発のグローバルビューティーカンパニー」を目指し、中長期経営戦略「WIN 2023 and Beyond」のもと、「Skin Beauty Company(スキンビューティーカンパニー)」としての基盤を構築して高収益構造へ転換していくため、事業ポートフォリオの再構築や、資生堂ならではの“メイドバイジャパン”の製品をグローバルに安定的に提供する研究開発力の拡充、生産体制の整備などを力強く進めてきました。さらに、新型コロナウイルス感染症や不安定な世界情勢など不透明な状況が続くなかでも、中長期の成長を確実なものにするためブランド価値と人財資本に戦略的追加投資を行っています。インナービューティーやホリスティック領域など、変化するお客さまを捉えたイノベーションも強化し、2030年に向けたビジョン「PERSONAL BEAUTY WELLNESS COMPANY(パーソナルビューティーウェルネスカンパニー)」に向けて、美の力を通じて「人々が幸福を実感できる」サステナブルな社会の実現を目指してまいります。

本年は、“新たな始まり”151年目のスタートです。「守り」から「攻め」に転じる躍動の年としていきます。企業使命「BEAUTY INNOVATIONS FOR A BETTER WORLD」のもと、私たちの本業を通じてよりよい世界を実現したいという強い信念を胸に、それに向かって努力し、挑み続けます。本日、2023年1月1日付で、私が代表取締役 会長 CEO(Chief Executive Officer)、昨年まで中国地域本社の責任者をしてきた藤原憲太郎が社長 COO(Chief Operating Officer)に就任しました。今後2年間、2人で協力し併走することにより、経営体制を一層強化します。新体制のもと、全世界の社員がさらに一体となって、世界中のお客さま、株主などすべてのステークホルダーの期待に応えていきます。

本年も皆さまのご指導、ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。